

平成 25 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 協立情報通信株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 茂則
 (J A S D A Q ・ コード 3670)
 問合せ先 常務取締役 管理部長 長谷川 浩
 (TEL. 03-3434-3141)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 10 月 11 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 4 月 12 日の平成 25 年 2 月期決算発表時に公表しました平成 26 年 2 月期（平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	5,776	400	404	217	182.27
今回修正予想（B）	5,295	283	289	159	133.70
増 減 額（B－A）	△481	△116	△115	△57	
増 減 率（％）	△8.3	△29.1	△28.5	△26.6	
（参考）前期実績 （平成 25 年 2 月期）	5,010	364	359	211	212.56

2. 修正の理由

国内の携帯電話市場は、近年なだらかな上昇傾向にあり、当社においても、今期は前期をやや上回ることを想定しておりましたが、夏季商戦期の携帯電話販売台数が想定に反して販売計画を大きく下回り、7 月以降、急激にモバイル事業の収益が悪化いたしました。

こうした事態に対し、各店舗において販売促進活動を積極的に行うとともに、法人向け営業の販売・管理体制を強化するなど、いくつかの施策を実施してまいりましたが、収益改善には至っておりません。

また、9 月には当社が運営するドコモショップ 4 店舗でも「iPhone」の提供を開始し、業績改善への期待もありましたが、売れ筋商品の入荷の見通しが不透明なことから、現時点では当期の業績に対する影響を計りかねる状況にあり、当期堅調であるソリューション事業でもモバイル事業の収益の悪化を補いきれないと判断し、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上